

会員数	36,985	(前月比) - 842
郵送	8,243	(前月比) - 489
手配り	25,879	(前月比) - 377
協同基金到達額	2,624,299,000円(3/31現在) [前月比 36,622,000増]	
協同基金出資者数	14,950名(3/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	6,014円(3/1~31)	

LOVE 9条 世界を知り 日本を変える

2017堺 憲法のつどい

3月25日に、2017堺憲法のつどいが堺市立東文化会館で行われ、約300人が参加しました。

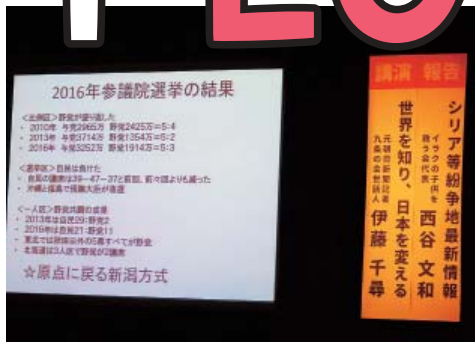
報告 シリア等紛争地域最新情報 戦争のリアル 安保法制のウソ

「イラクの子どもを救う」
会二 代表の西谷文和さんの

貴重な映像と生々しい現地の悲惨な実態を聞くと、南スーダンの駆けつけ警護等、国内メディアが放送していない現状、武力国家の財政確保のため、現地の人たちが戦争をさせられている。との説明を聞き怒りと悔しさがこみ上げてきました。

後半、9条の会世話人の元朝日新聞記者の伊藤千尋さんの「今こそ問われる市民意識」の講演を聞きました。世界が憲法9条を求めていると全国で13の9条の碑を含め、トルコ、カナリア諸島等世界に広がっている。韓国の民衆総決起の例を挙げ、過半数はいらない「社会を変える15%の法則」で関心を持ち参加すること世の中は変えられる現実を学びました。今後、今回の教えを生かし行動せねばと、心を新たにしました。

(古賀 光政)



西谷文和氏



伊藤千尋氏

新入職員オリエンテーション

友の会体験 10支部と交流

共同組織の温かさに
触れた一日でした



会員と新入職員が
みみはらの歌を
一緒に歌う



協和町の歴史に耳を
傾ける新入職員

4月1日に同仁会グループの入職式が行われ、新入職員88人が入職しました。
5日にはオリエンテーションの一環として友の会体験が行われ、10班に分かれそれぞれの支部と交流しました。たこ焼きや花見をしながらの懇談や地域にビラ配り、また会員さん宅に「とも」を届ける活動などを体験しました。友の会の方からの温かい歓迎を受け、新入職員も楽しそうな表情を見せていました。
参加した新入職員から

「友の会の方々の温かさに触れることが出来ました。直接地域に行かないと分からない雰囲気が見られて、楽しかったです。また地域の人のために一生懸命動こうという意欲も湧きました」
「貧困格差がひろがる今、共同組織があることで地域で支え合い、少しでも負担が減るんだと思いました。地域の人が安心して暮らせるように、医療者も頑張っていかなければいけないと思いました」などの感想が出されました。

聴診器

「福島原発事故に国と東電は責任あり」との判決が3月17日前橋地裁でありました。福島県から群馬県に避難した住民らが原発事故による損害賠償を訴えたものです。判決は、国と東電はともに15

畝を越える大津波が来ることを予見できたのに、対策を怠って事故を防ぐことが出来なかった責任を認めています▼伊方原発や川内原発が再稼働するなか、この判決は一石を投じたものと思います。同じ頃、大阪では「なくせ原発！再稼働反対！3・11おさか集会」が開催され、原発から自然エネルギーへの転換を訴えています。福島県浪江町は事故以前には町議会で原発誘致の決議をしていました。しかし事故以来これを白紙としています。▼事故から6年、未だ8万人が住み慣れた故郷に戻ることができていないのです。折から今村雅弘復興相は記者会見で「自主避難は自己責任」と発言し、物議をかもしました▼一方遠く離れたドイツのことで「原発推進」だったメルケル首相は福島原発事故を受け、自然エネルギーへの転換を閣議決定しました。大いに見習って欲しいものです。